

さ らなる災害対応力の強化を

瀬戸内市消防出初式

ゆめトピア長船で1月20日、消防団員らが出席して、恒例の消防出初式が行われました。

式典では、消防団の新入団員に辞令を交付した後、消防活動により功績のあった団員などに対し、表彰状を授与しました。

福池幹夫団長は「今後もより一層消防団の使命を全うするため、平素の訓練はもちろん防火・防災の予防啓発を重点的に推し進め、市民の皆様の生命・身体・財産を災害からまもっていかねばならない」とあいさつ。最後は、瀬戸内市消防の発展を願い、万歳三唱を行いました。



市消防の発展を願い、万歳三唱

ネ パール料理で国際交流

DBOC 料理教室



講師からコツを習う会員ら

1月19日、瀬戸内市の国際交流を推進する会「DBOC」(佐藤悦子代表)主催で料理教室が開催されました。同会は年1回、世界各地の人を招き料理教室を開いて、その国の文化を学んでいます。今年はスパイスをふんだんに使ったネパール料理に挑戦しました。

参加した会員は、ネパールの定番料理であるブトゥワ(チキンのマサラ炒め)やダルスープ(豆のスープ)、ジンジャーマサラティーの3品について講師から料理方法を学び、ネパール文化への理解を深めていました。また、料理に舌鼓を打った後は、ネパール民謡や日本の歌を披露し合うなどして楽しく文化交流を行いました。

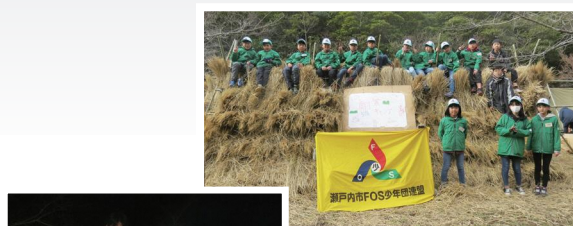
自 然の厳しさと家庭の温かさを知る

瀬戸内市 FOS 少年団連盟が耐寒キャンプ

1月26・27日、邑久自然教育の森キャンプ場で瀬戸内市 FOS 少年団連盟が耐寒キャンプを行いました。

備前市日生町と吉備中央町の FOS 少年団連盟、岡山市中山 FOS 少年団からの参加もあり、小・中学生の団員・指導者ら総勢43人が参加。雪がちらつく中、団員らは自分たちで寒さを防ぐ工夫をしながら、わらや段ボールでテントを囲って小屋を作り、一晩泊まりました。また、夜には、大賀寺へのナイトウォークを行い、寝る前には恒例のドラム缶風呂も体験しました。

団員らは、自然の厳しさと家庭の温かさを心に刻み、共同作業を通じて交流を深めていました。



みんなで作ったわら小屋の上で、はいポーズ！



実は温かく、湯冷めしないドラム缶風呂



My Town Topics

まちの話題

問 秘書広報課：☎0869-24-7095



島美を眺めながら前島を力走

日本のエーゲ海マラソン

前島(牛窓町牛窓)で2月3日、第15回日本のエーゲ海マラソンが開催されました。

この日は、県内外の1歳から82歳までの887人が参加。牛窓研修センター・カリヨンハウスからスタートしたランナーは、多島美が広がる景色を楽しみながら健脚を競いました。

また、走り終えたランナーは、前島の野菜を使ったあたたかい軽食のおもてなしを受けたり、展望大浴場に入浴したりと、思い思いに前島を満喫していました。



勢いよくスタート！



節分にちなんだ仮装してくるランナーも



楽しみながら走るランナー



それぞれのペースで走りました



つまでもお元気で

100歳を迎えた高齢者をお祝い

1月22日に満100歳を迎えた田^た埜フジエさん(邑久町向山)のお祝いに、24日、武久頭也市長らが入所している施設を訪問しました。

徳島県で生まれ育った田埜さんは、働き者で、瀬戸内市へ越してきても、趣味のゲートボールを楽しみながら70歳ごろまで仕事をしました。現在は入所している施設で、ゆったりと過ごしています。長寿の秘訣は「ストレスをためないこと」。

また、1月24日に満100歳を迎えた佐藤善子^{よしこ}さん(邑久町豆田)のお祝いに、武久頭也市長らが自宅を訪問。佐藤さんは家族とともに「ありがとうございます」と笑顔でお祝い状を受け取りました。読書好きで、勉学に励んでいた佐藤さんは、編み物や和裁も得意で農業の手伝いをしながら色々なものを作っていました。結婚後も農業をしながら子育てをし、現在も家事の手伝いを続けています。長寿の秘訣は「よく働くこと」。

お二人とも、これからもますますお元気で過ごしてください。



お祝い状を受け取る田埜さん(写真左)



武久市長と記念撮影する佐藤さん(写真左)